

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都市	代表者名	門川 大作
担当者部署	総合企画局情報化推進室統計解析担当	連絡先電話番号	075-222-3216
担当者役職		担当者氏名	
住所	604-8005 京都府京都市中京区河原町三条上る恵比須町427番地 京都朝日会館4階		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川島 宏 ※アドバイザーリーダー
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回、オープンデータを巡る社会情勢と、オープンデータの具体的な活用事例について紹介いただきたい旨お願いしたところ、限られた財源のもと、行政が実施できるサービスには限界があることを明示いただいたうえで、オープンデータを活用した行政と市民等との共創によるサービス提供の可能性をはじめ、多数のデータ利活用事例を御紹介いただいた。また、受講者からの講義内容に対する質問への回答や、後半のグループワークでの発表に対する講評等でも大変丁寧に対応いただきなど、オープンデータに対する理解を深める機会を提供いただいた。
アドバイザーへの要望事項	大変御多忙にしておられる中恐縮ですが、是非、今後も本市のオープンデータの推進に引き続きお力添えをいただきたく思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月19日	13時30分	17時00分	10	200
3-2. 派遣場所	会場名	右京区役所 大会議室		最寄駅	京都駅
	所在地	〒616-8511 京都市右京区太秦下刑部町12			
	最寄駅からの交通手段	最寄駅下車すぐ			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員、市民・企業等	人数 52人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>職員も市民もオープンデータの利活用により各種課題が解決できる可能性があるとは考えが及ばない状況で、結果として、庁内各課において積極的に自らオープンデータの公開を進める土壌がなかなか根付かない。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <p>庁内職員及び庁外の方の参加を募り、庁内外双方から、オープンデータの推進の取組に対する意識を高める。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>前半の座学では、オープンデータを巡る社会情勢と活用事例、また公開に当たってのリスク管理に至るまで、多くの事例を交えて講演をいただいた。後半のグループワークでは、各テーブルでの議論の状況を見も持っていただき、適宜アドバイスをいただいた。また、グループごとの発表に当たっては、その都度丁寧に講評を加えていただくなど、随所で参加者の意欲を積極的に引き出すための工夫をいただいた。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>添付しているアンケート集計結果のとおり、多くの参加者に、オープンデータに対して興味を深めていただくことができた。また、グループワークでの市民と庁内職員の議論、意見交換を通じ、個々の職員がオープンデータ化の必要性を認識。中には職場に帰りオープンデータを進めるといった声も出るなど、データに対するニーズ把握のための大変貴重な機会となった。</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 オープンデータに関する庁内外の方々の理解を深めることができた。</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>オープンデータに対する理解や関心をより多くの人々に持っていただくためには、引き続き庁内外での啓発のためのセミナーや意見交換会の実施など、今後も継続的な取組が必要である。</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付資料のとおり大変好評で、特に川島先生に御用意いただいた講演資料は「参考になる」と回答した人が94%に達した。記入式の質問には、オープンデータのリスク管理の観点(例:モザイク効果等)に対するコメントもあり、オープンデータ推進とリスクのバランスに関する受講者の気付きが伺える。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	「オープン・バイ・デフォルト」の考え方が浸透し、オープンデータとして差し支えないデータは原則最初から公開され、それらが地域課題の解決や新たなビジネスの創出などに積極的に広く利活用される社会の実現	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都市	代表者名	門川 大作
担当者部署	総合企画局情報化推進室統計解析担当	連絡先電話番号	075-222-3216
担当者役職	係員	担当者氏名	谷内 和穂
住所	604-8005 京都府京都市中京区河原町三条上る恵比須町427番地 京都朝日会館4階		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川島 宏 ※アドバイザーリーダー
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回、東京大学公共政策大学院主催の政策立案コンテスト「チャレンジ！オープンガバナンス2019(COG2019)」に関連し、京都市からの政策課題の提出と市民からのアイデア募集に向けたイベントとしてワークショップを実施し、川島教授にも臨席いただいた。市民や学生の政策課題に対する思いを、どのようにアイデアに結集していくかについて、過去のCOGで出された優秀なアイデアの紹介等を交えて、参加者に分かりやすく説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	大変御多忙な中恐縮ですが、是非、今後も本市のオープンデータを活用した市民との協働の取組について、アドバイス等のお力添えをいただくと幸いです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月20日	9時30分	11時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	京都市役所分庁舎 第2会議室		最寄駅	京都市役所前
	所在地	〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩2分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員、市民・企業等	19人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	COG2019へのエントリーに当たって、市民や企業が取り組みたいと考える地域課題・政策課題と、京都市が市民等に解決を求める地域課題等が必ずしも一致していない状況がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市民等と行政職員の協働でのワークショップを行うことで、地域課題等に対する共通の認識を持ち、合わせてアイデア提出への意欲を醸成する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	ワークショップは2チームに分かれて行ったが、両チームに対し、ブレインストーミングからアイデアへ結集していく過程で、適宜アドバイスをいただいた。また、それぞれのチームのアイデア発表に際して講評もいただき、最後に、全体を振り返っての感想と、今後のCOGの取組を市民との協働で進めていくうえでのポイント等について貴重なアドバイスもいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	COG2019へのエントリーに当たって、市民や企業が取り組みたいと考える地域課題と、京都市が市民等に解決を求める地域課題について、共通の認識のもと取り組むことができるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他
	ワークショップに参加した市民等と市役所職員の双方が、COGを契機とした市民協働の取組を進めていくことの重要性について、気付きを得ることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	オープンデータを活用した市民協働の取組を、さらに今後深化させていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 第2日目は比較的小規模でのワークショップが目的であったため、特設アンケートは取らなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	市役所内に「オープン・バイ・デフォルト」の考え方が浸透し、京都市のデータインフラが格段に充実、その中で市民や学生、あるいは企業が自由に利活用し、地域課題等を自ら解決していく社会。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

